

4年ぶりの訪問

上杉清治

3月23日~31日までSCMSI卒業式参加訪問に同行させて頂きました。10年前里親になって以来、2名の里子がカレッジを卒業しており、社会人としてどのように生活しているのか、会ってみたいなどとワクワクしていました。



去年まで支援していたニッカデコロン高校卒業式

到着を待ちうけていたジョナベル・ウジェンは、翌日ラヒット小卒業です。3年半前に紹介された時の写真のイメージしかなく、名札と写真を見比べて、3年半経てばずいぶん大きく変わるものだなとびっくりしました。

また、卒業式では着飾っており、またまた違った印象でした。小学校の卒業式は地域家族総出の祝の場と感じ、胸が熱くなりました。去年カレッジを卒業した子は、何度も訪ねてくれて、親、姉妹の事、学校の事等色々と聞かせてくれました。それと、社会人の里子（元）3名も訪ねてきて、1名は子供が1人、もう1名は子供が2人いるけれど先生になりたいので、また里親になってほしいとの事。これまたびっくりしました。

里子の人生それぞれを見させてもらい、また訪問できたらと思いました。

6年ぶりに訪ねたレイクセブ

石渡浩子



無事卒業式を終えた里子のロールダンと

3月下旬、カレッジを卒業する里子に会うためレイクセブを訪ねました。6年ぶりのチボリは大分変わっていました。ほとんどの人が携帯電を持っているほか、乗合バイク(スカイラブ)の数もさらに増えた感じです。また、教育に対する皆の意識が変わっているという印象も受けました。子どもを学校にやるのは当たり前、やらないのは恥ずかしいことと言う風潮さえ生まれているようです。気のせいかもしれませんが、支援初期に比べると、どの子どもの顔もきりっとして賢そうに見えます。やっぱり教育を与えることの大切さを感じました。

SCMSIの卒業式は、24-27日に予定されていて、初日は午前、午後と、日に2回も式典に招かれました。そのすべてで、HANDSを代表してスピーチすることになり、このようなことなら多忙な年度末とはいえ、日程をやりくりして代表の山崎さんに来ていただくべきだったと思いました。

卒業式日程の最終日、レムエヘックの小学校、ハイスクール、カレッジ3部門の合同卒業式は、町立ホールに、卒業生とともに、その姿を誇らしげに見つめる両親が出席、熱気にあふれていました。大きな会場いっぱいの卒業生と家族の喜びの様子を、皆さんにお見せできたらと思いました。

私たちの長い間の支援では、町長をはじめとして、要職についている卒業生がたくさん出ています。そのため、卒業式会場と宿舎の行き来はもちろん、レイクセブ滞在中はずっと町役場の車で移動することができました。SCMSI代表のガンダムさんもすっかり有名人になっていて、SCMSI校卒業式には、教育委員長等も出席して子どもたちを祝福してくれました。

支援が始まった頃に建てられ、私たちも宿泊した研修棟は大分傷んできて、何とかしたいと修理に関する支援の打診もありました。訪問団メンバーの中には、日本の定年を過ぎた大工さん等に来ていただいたらどうかという提案をされる方もいました。現地には若者がたくさんいますから、その指導等、少しだけ手を貸せば、順次補修もできるでしょう。

しばらくぶりで訪ねた訪問団に対して、何かと期待も大きく、また、しばらく日本の里親が卒業式に出ていな